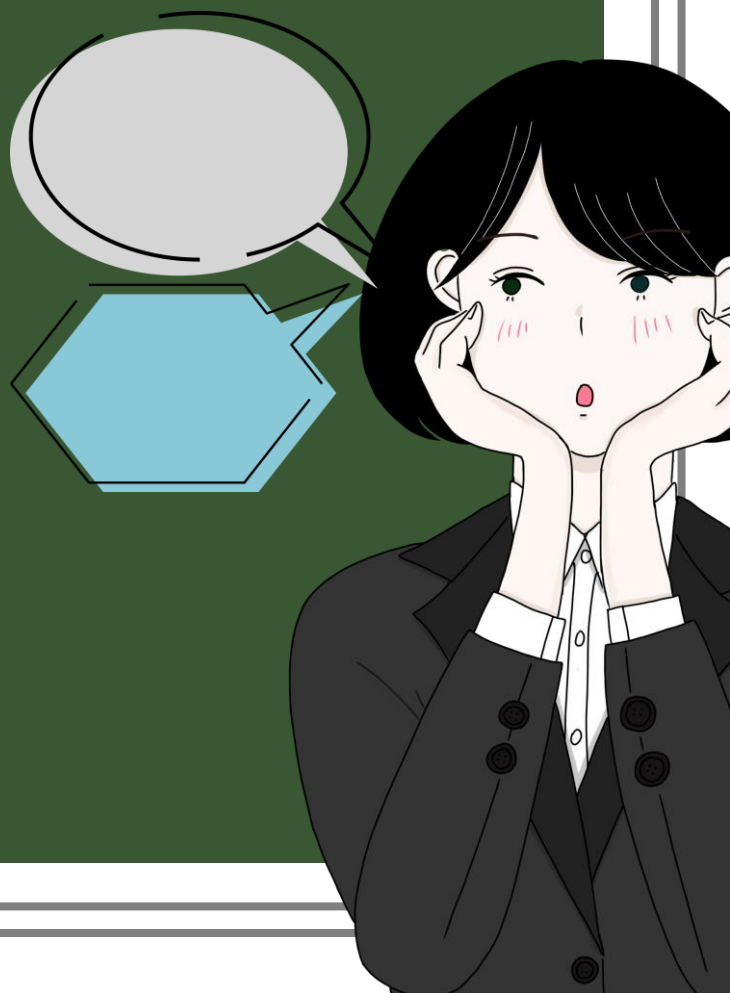


内定者の声

令和4年度入省予定 環境省一般職理工系内定者一同

- 内定者プロフィール
- 公務員試験対策
- 官庁訪問体験記



はじめに

「内定者の声」を手にとっていただき、ありがとうございます。
本書は未来の仕事仲間たる皆さんの不安や疑問を解消するために、内定者の私たちが作成したものです。第1部では「内定者はどのような人か」、第2部では「公務員試験をどのように乗り切ったか」、第3部では「官庁訪問はどうだったか」について記載しています。
ぜひご参考にしてください！

2021年12月 環境省一般職理工系内定者一同

本冊子の構成

はじめに

第1部 内定者を知ろう！（P.2 ～ P.11）

- 内定者の基本データ（学科/専攻、性別、就活スケジュールなど）
- 志望動機
- 環境省を志望される方へのメッセージ など

第2部 公務員試験を知ろう！（P.12 ～ P.23）

- 内定者の公務員試験基本データ（試験区分、席次など）
- 勉強量について
- 勉強内容・試験内容について

第3部 官庁訪問を知ろう！（P.24 ～P.33）

- 環境省の官庁訪問について
- 内定者の官庁訪問基本データ（併願先など）
- 官庁訪問参加者による座談会

おわりに



※ 環境省 Web サイトでも公開しております。
(http://www.env.go.jp/guide/saiyo/cat_ra2/from_pe/index.html)

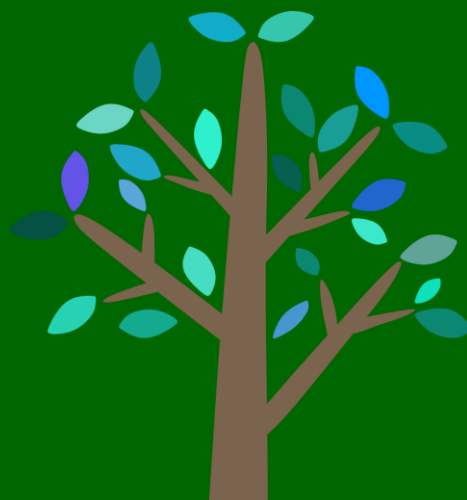
《注意》

令和3年度の官庁訪問は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、リモートによる説明会・面接等が実施され、例年とは大きく異なるものとなりましたのでご注意ください。最新の情報については人事院 国家公務員試験採用情報NAVI (<https://www.jinji.go.jp/saiyo/saiyo.html>) でご確認ください。

1. 内定者を知ろう！

志望理由は？

何人くらいいるの？



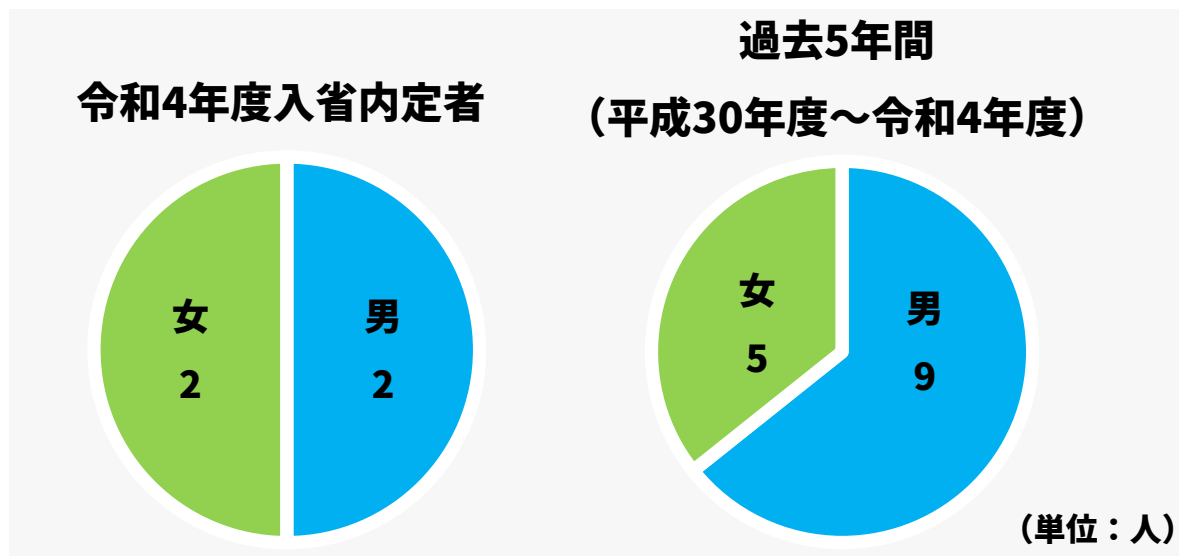
第1部．内定者を知ろう！

令和4年度入省予定の一般職理工系内定者は、全4名となりました。第1部では、まず今年の内定者の内訳を過去5年間（平成30年度から令和4年度まで）のデータと併せて概説したのち、内定者各人のプロフィールを掲載しています。また、個人情報保護の観点から実名の代わりに各内定者のヘンネームを使用しています。あらかじめご了承ください。

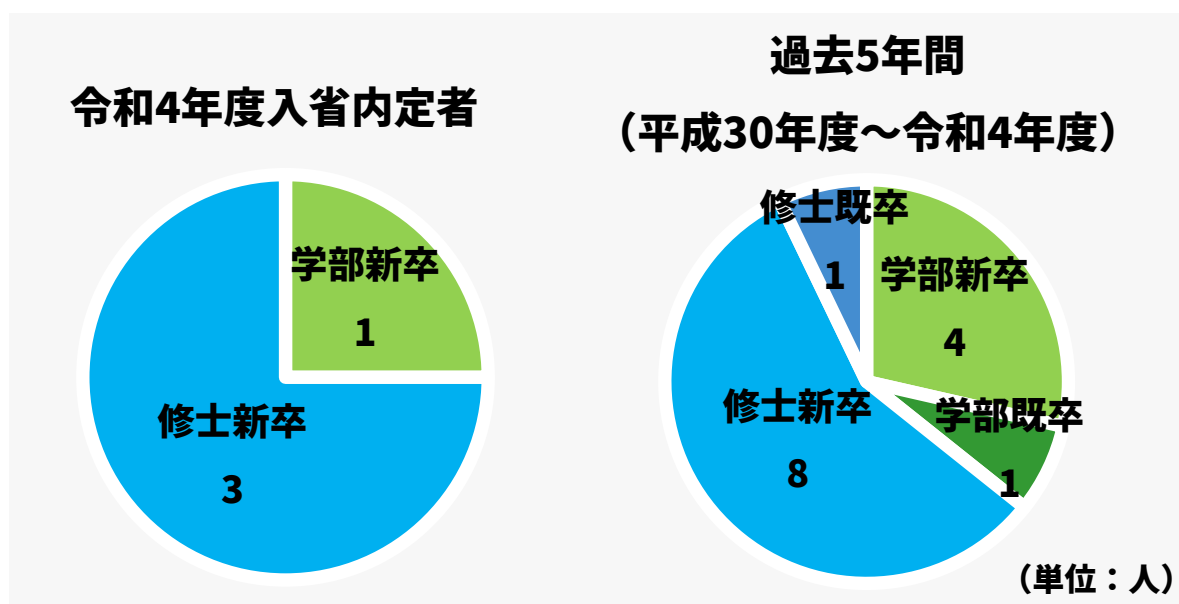


■ 内定者の基本データ

■ 男女比



■ 最終学歴

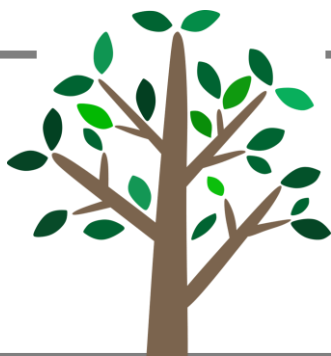


次のページからは一般職理工系内定者4名一人一人を紹介していきます。趣味や研究内容から、環境省を目指した理由まで詳しく載せているので、ぜひ参考にしてみてください！

Go to the next page...



No.1 豚汁（23・男）



基本情報

Profile

試験区分	土木
大学所在地	埼玉県
学部（研究科）	理工学研究科
学科（専攻）	環境システム工学系専攻
研究内容	液状化現象
出身地	千葉県
部活動・サークル	なし（色々なバイトを頑張りました）
趣味	サッカー観戦、旅行、YouTube
特技	簡単な料理
好きなもの	？（多すぎて選べません笑）



大学では、
研究室に來日した
留学生の案内を
しました！

就活事情

併願先（民間）	鉄道会社
併願先（他省庁等）	特許庁、国交省
インターン先	鉄道会社、建設会社



国家公務員試験当日、
会場前で一枚です。
自分を信じて、試験に
臨みました！

大学3年

不動産ディベロッパーのインターンに参加

大学4年

多くの人にサービスを提供したいと思い、公務員志望に。地方公務員試験には合格したが、国家公務員試験には落ち、大学院へ進学

大学院1年

人々の生活を支える点に魅力を感じインフラ系のインターンに参加。企業の業務や雰囲気を掴む

大学院2年

- 4月 民間の選考が進む中、国家公務員試験を受験
- 5月 より未来志向で、多大な人に貢献したいと考え、国家公務員になると決意
- 7月 官庁訪問
- 8月 **国家一般職最終合格**
ご縁があると感じた環境省に内々定をいただく

環境省を志望した理由

小さい頃にテレビCMでホッキョクグマが海氷から落ちてゆく様をみて、環境分野に興味関心を抱きました。また、コロナ禍で、日常生活で空を見上げるようになったり、季節の移ろいなどに敏感になるといった変化もありました。

就職活動を進める中で、環境問題は、地球温暖化に代表されるようなグローバルな側面と、地域循環型社会のようなローカルな側面の両方を持ち合わせていることを、説明会で知りました。境目なく、広がっていくこの分野の特性に惹かれ、志望しました。

環境省の仕事を知ったのは、官庁訪問の直前だったのですが、職員の皆様は、説明会の参加の有無にかかわらず、分け隔て無く選考をしてくれました。そういったフェアな部分も環境省を進路に選んだ一因です。

内定者全員に環境への興味関心という共通項はあると思いますが、志望理由は、十人十色です。他の内定者の想いも是非参考にしていただきたいと思います！



就活エピソード

成功談



ES作成や面接に臨む上で、周りの人に一度見てもらったことは良かったと思います。特に厳しいことを言ってくれる知人や家族の意見には耳を傾けましょう。

失敗談

基本的なことなのですが、身だしなみには気をつけましょう。他省庁を訪問した際、暑くて腕まくりをしたことをご指摘いただいたことがあります。受ける団体にもよりますが、細心の注意を払うことをおすすめします。



環境省を目指す人へのメッセージ・アドバイス

まず、内定者の声を読んでいただき誠にありがとうございます。

本書が、少しでも皆様のお役に立てればと、一同、作成してまいりました。

納得いく就職活動をするためには、休養も大変重要です。右の写真は広島県の宮島のシカです。彼らは木陰で休みながら、マイペースに、自由に生活しています(笑)。

国家公務員を志される皆様も、頑張りすぎず、自由に充実した就職活動をされることを切に願っております。

鹿：
みんな、
のんびりいこうや~~



No.2 りんご (21・女)



基本情報

Profile

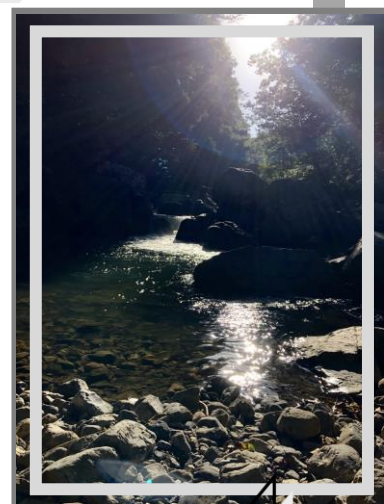
試験区分	土木
大学所在地	滋賀県
学部（研究科）	理工学部
学科（専攻）	環境都市工学科
研究内容	災害廃棄物発生量の推計と 広域的仮置場の検討
出身地	大阪府
部活動・サークル	吹奏楽部
趣味	ゲーム
特技	楽器が吹ける
好きなもの	水族館、アイス、和菓子



京都の大きなかき氷！
甘いものが大好きです。

就活事情

併願先（民間）	建設コンサルタント
併願先（他省庁等）	近畿地方整備局
インターン先	建設コンサル、近畿地方整備局



近所にある川です。
小さいころからよく
遊びに行っていました。

大学3年

- 5月 環境省に興味を持つ
- 7月 環境省のインターンに申し込むが、落ちる
- 2月 民間企業の早期選考で内定をもらう
公務員か民間企業か、進路に迷い始める
- 3月 公務員試験にチャレンジすることを決める

大学4年

- 5月 総合職試験に1次で落ちる
一般職に向けて面接対策を始める
- 7月 **一般職試験の1次試験に合格する**
官庁訪問
- 8月 **一般職試験に最終合格する**
内々定をもらう

環境省を志望した理由

小さな頃から自然とふれあいながら遊ぶのが大好きで、生き物に関われる仕事に就くのが夢でした。小学生のときに東日本大震災のニュースを見てからは防災に関わる仕事にも興味を持つようになりました。しかし高校生の自分には何を軸に働きたいかを決めきれず、広い範囲の知識を学べる今の学科に進学しました。大学生になって国家公務員という就職の選択肢を知ってから、環境省について調べるうちに自分のしたいことを1番理想の形で叶えられるのは環境省なのかもしれないと思うようになりました。

災害発生確率が高い日本で、防災と環境保全とのバランスを考えることはとても大切です。しなやかな国土構造でありながら環境と共生もできる、そんな社会環境が日本のどこにいても約束されるために、環境省の職員として政策に関わっていきたいと考えています。



就活エピソード

成功談



民間の就活も大学生活もアルバイトも並行して頑張れたこと。「忙しさを理由に諦めなくてよかった」と思うことがたくさんあります。

失敗談

一般職試験が人事院の試験で最終合格してから3年間有効なことを早く知っていたら余裕を持った就活ができたんだろうなと思います。



環境省を目指す人へのメッセージ・アドバイス

選択肢をたくさん持つておくことが大切だと思います

説明会やインターンは、少しでも興味を持ったなら参加してみるのがおすすめです。色んな企業や団体のことを積極的に教えてもらえるのは就活生の特権です。

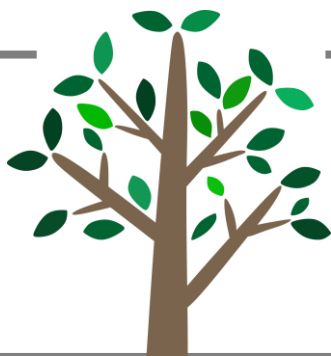
それに良い面も悪い面も、比較してみて初めてわかることがあると思います。

たくさん悩むこともあるかと思いますが、みなさんの就職活動が納得のいく結果になることを願っています。

ヤドカリがたくさんいました。
やっぱり自然と触れ合うのが
楽しい！



No.3 いえろー（24・男）



基本情報

Profile

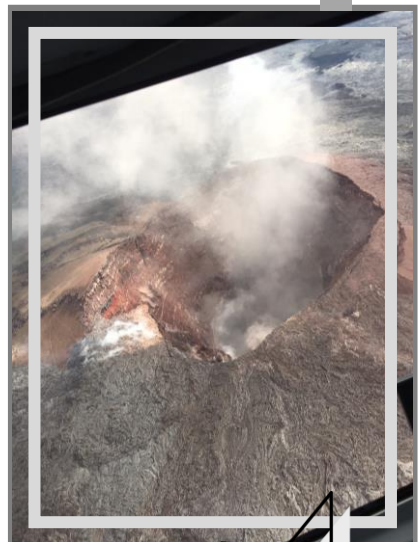
試験区分	物理
大学所在地	福岡県
学部（研究科）	理学府
学科（専攻）	地球惑星科学専攻
研究内容	海洋植物プランクトンによる 火山由来鉄の利用
出身地	福岡県
部活動・サークル	アコースティックギター
趣味	野球、バレー、アニメ映画鑑賞
特技	車の運転(?)
好きなもの	野球、ラーメン、黄色



福岡生まれの
福岡育ちです！
コロナ前は年間10試合
くらい野球観戦に
行っていました！

就活事情

併願先（民間）	なし
併願先（他省庁等）	気象庁（経産省、海上保安庁にも関心）
インターン先	なし



専攻でハワイに巡検に
行ったときに、ヘリから撮った
写真です。巡検の数か月前に
噴火したばかりだったので、
噴火のあとが生々しくて
迫力がありました！

高校生

環境問題に興味を持つ
地球について勉強したいと考える

大学4年

11月 環境省の対面の説明会に参加

大学院1年

8月 **総合職試験（大卒程度）に合格**
10月 **一般職試験に合格**
（コロナの影響により日程に遅れ）

大学院2年

6月 総合職の春官庁訪問→内々定もらえず
総合職試験（院卒程度）に合格
7月 総合職の夏官庁訪問→内々定もらえず
～8月 **一般職の官庁訪問→内々定をもらう**

環境省を志望した理由

きっかけ

中学生の時に地元が豪雨災害に遭い、温暖化をはじめとした環境問題に次第に関心を持つようになりました。調べていくうちに使命感を抱き、「このままではいけない、誰かがやらなきゃ!いや、俺がやる!」と考えるようになりました。

志望理由

従来の環境問題対策というと、経済成長に伴う損害の補填や規制などのイメージがあると思います(公害対策など)。しかし今の世の中は、環境問題対策を経済成長の足掛かりにする動きが強まっています。世の中の変化を広い枠組みでサポートし、日本全体で環境問題の解決に向かえるようにしたいと考え、環境省を志望しました。

やりたいこと

環境教育の推進に関心があります。環境について若い世代からの発信を増やし、環境リテラシーの向上を目指していきたいです。



就活エピソード

成功談



試験合格が3年間有効なので、修士1年で試験を受けました。気持ちに余裕を持ってその後の説明会への参加や官庁訪問の準備ができました。

失敗談



民間をほとんど考えてなかったことです。オンライン面接に慣れていなかったこと、リスクマネジメントができていなかったことが反省点です。

環境省を目指す人へのメッセージ・アドバイス

公務員志望者が減っている中、環境省は志望者が増えている省庁というイメージです。説明会に参加すると、他の参加者の志望度や意識の高さに焦りを覚えることもありました。

省庁選びで重要なことは、自分なりの価値観を持つことと、省庁が持つ目的と擦り合わせるのだと思います。自分の経験や考えと深く向き合って、自分らしいと思える選択をしてください。

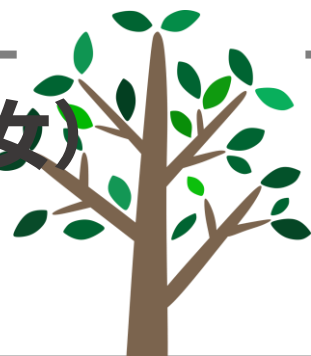
私は興味の幅が広く、「具体的に何がしたいか」をまとめるのに苦労しました。しかし官庁訪問を経て、「環境を軸にいろんな角度から人々の幸せに寄り添える」ことが環境省の魅力であり、自分らしい選択だと思いました。

少しでも参考になれば幸いです。熱い思いを持つ皆さんと一緒に仕事ができることを心待ちにしています。

研究航海のため、
17日間の船上生活！
得られた試料から、過去の
地球環境の変動を
読み解きます



No.4 おこめちゃん (24・女)



基本情報

Profile

試験区分	土木
大学所在地	東京都
学部(研究科)	環境・社会理工学院研究科
学科(専攻)	融合理工学系専攻
研究内容	雪冷房システムの ライフサイクル環境評価
出身地	新潟県
部活動・サークル	ダンスサークル
趣味	韓国アイドルのダンスカバー
特技	絶対音感
好きなもの	韓国 ディズニー



地元新潟
とにかく大好き！
大人になっても雪遊び
は楽しいんです。

就活事情

併願先(民間)	電力会社、独法、建設コンサル
併願先(他省庁等)	関東地方整備局、水産庁
インターン先	エネルギー会社



設立したSDGs学生委員会
での活動の1シーン。手作りの
模型を使いながら、輸入肉、
国産肉のCO₂排出量の違いを
説明しています。

大学3年

- 2月 環境省 政策立案ワークショップに参加
- 3月 環境省 霞ヶ関OPENゼミに参加
- 8月 エネルギー会社のインターン(1day)に参加

大学4年

- 4月 大学でSDGs学生委員会を設立

大学院1年

- 8月 環境省 スマートライアルに参加

大学院2年

- 4月 総合職試験を受験→2次試験で不合格
- 6月 電力会社から内々定をもらう
一般職試験を受験
- 6-7月 各省庁説明会に参加
→併願先含め志望順固める
- 7月 官庁訪問(環境省のみ)
- 8月 **一般職試験合格→環境省内々定**

環境省を志望した理由

私が環境問題に興味を持ち始めたのは、小学生の頃でした。地域の環境啓発イベントに偶然立ち寄り、その場に一緒に居た母から「将来地球を守ってね」と言われ、素直に同感し、地球環境問題の解決の使命感を持ちました。そして高校生の頃から環境省への入省を考えはじめました。

大学でのまちづくり提案の授業では、都市計画の中に再生可能エネルギーを導入することで、地球環境問題の解決はもちろん、地方の過疎化といった社会問題も同時解決可能であることを学びました。この経験から、地域資源・エネルギーの活用は、分野を超越するポテンシャルを持ち、今後の日本の最重要課題であると感じました。

国の枠組み作りという社会的インパクトの大きいアプローチで、そして、国内組織や世界各国の様々なステークホルダーと連携ができる立場で、地域の資源・魅力を最大限に引き出した持続可能な地域づくりに携わりたいと思い、環境省を志望しました。



就活エピソード

成功談



頼れるものに素直に頼りました。自分で何か(ESの内容、併願先辞退など)を決断をする際に、いろんな人の意見を聞くことで、「これで間違いないな」と自信に繋がりました。

失敗談

公務員試験勉強を始めるのが遅かったです。特に3月頃は民間の目の前の締め切り(ES提出、面接など)に追われて試験勉強ができず、焦り、精神的につらかったです。



環境省を目指す人へのメッセージ・アドバイス

「自分磨きの場」として就活を楽しんでほしいと思います。特に官庁訪問は、「大変そう」という印象があると思いますが、今思えば、「省庁で実際に働く方に直接自分を評価してもらう」という、大変貴重な時間だったと感じます。その貴重な評価を活かすことはもちろんですが、自分の話を直接聞いてもらえるせっかくの機会(しかも無料で!)ですので、「面接」と思わず、「会話を楽しむ」「職員さんの知識や言葉遣いを盗む」くらいの気持ちをどこかに持つことも、大切だと感じます。

就活中のいろんな場面において、できる限りのことを吸収して、ぜひ自分を一回り大きくする良い機会にしてほしいと思います!

ダンスサークルでは振り付け担当でした。最近は好きな韓国アイドルのダンスをコピーするのが好きです。社会人になっても続けたいですね!

